

マイバッグを持参しましょう！

レジ袋の削減！！

ごみの減量は、資源物をしっかり分別することも大切ですが、ごみとなる物をもらわないこと(リデュース:Reduce)が最も大切なことです。買い物時に商品を持ち帰るためのレジ袋も、まだまだ毎日の生活の中で大量に使われ捨てられています。

レジ袋が環境に対して問題なのは、毎回買い物時に新しいものが配られ、繰り返し使われることなく捨てられ、ごみとなってしまいます。

レジ袋は、国内全体では、毎年 300 億枚以上のレジ袋が使われ、1人が1年間に使う量はおよそ 300 枚(約 2.4kg)にもなります。

これだけのレジ袋を製造するためには、原油が約 56 万キロリットルも必要で、これは国内で使用される石油の1日分に相当し、膨大な資源とエネルギーが使われています。レジ袋を1枚使わなければ CO₂排出量を 61g 削減できます。

ごみの減量化のためにマイバッグを持参しましょう。お店によっては値引きやポイントを付加してくれるところも増えてきています。



この写真は福祉作業所で古い着物を再利用して作ったマイバッグです。

「もったいない」から始める「3R」推進運動に努めましょう。

- リデュース (ごみの発生抑制)
- リユース (再利用)
- リサイクル (再資源化)

ごみを増やさない工夫をし、再利用や資源回収を考え実行しましょう。さらに、再資源商品を積極的に利用しましょう。

全国での代表的な動き

富山県 レジ袋有料化1ヵ月

マイバッグ持参 93%

①有料化

今年四月から県全域でスーパーなどのレジ袋有料化を実施した富山県は二十一日、実施後一カ月のマイバッグ持参率が平均93%だったとの調査結果を発表した。

富山県環境政策課は、有料化に参画したスーパーなど三十三社百六十六店舗を対象に、事業者からチラシの提供を受け、持参率を調査した。このうち、スーパーでは有料化参画三十一社の全店舗百二十四店舗を調査し平均持参率が88%だった。

08.05.22 信濃毎日新聞

②有料化以外

- ・ 自主協定
- ・ エコマネー制
- ・ ポイント制
- ・ 値引き